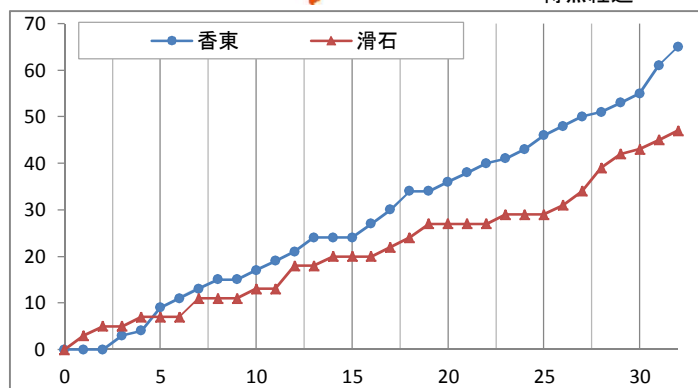




得点経過



大会名	平成27年度全国中学校体育大会 第45回全国中学校バスケットボール大会																
会場	一関市総合体育館																
日時	2015年8月23日(日)	10:55															
コート	Aコート 第2試合																
カテゴリー	男子選Eリーグ第1試合																
主審	澤野 卓朗																
副審	千葉 哲朗																
TEAM A	TEAM B																
香東 (香川県)	65 ○	滑石 (長崎県) ●															
	<table border="1"> <tr><td>15</td><td>1st</td><td>11</td></tr> <tr><td>12</td><td>2nd</td><td>9</td></tr> <tr><td>16</td><td>3rd</td><td>9</td></tr> <tr><td>22</td><td>4th</td><td>18</td></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> </table>	15	1st	11	12	2nd	9	16	3rd	9	22	4th	18	—			47
15	1st	11															
12	2nd	9															
16	3rd	9															
22	4th	18															
—																	

BOXスコア

TEAM A		香東						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	木内 光輝	×	13	1	4	2	2	
5	岩田 愛斗	×	7	1	2	0	5	
6	岡 隆太	×	13	0	6	1	1	
7	札野 巧真	×	19	2	6	1	3	
8	柳本 斗太	×	8	1	2	1	2	
9	伊勢 冬弥	DNP	0	0	0	0	0	
10	毛利 竜船	DNP	0	0	0	0	0	
11	根ヶ山 康平	DNP	0	0	0	0	0	
12	岩瀬 佳希	DNP	0	0	0	0	0	
13	藤野 颯真	DNP	0	0	0	0	0	
14	森 正大	/	5	1	1	0	2	
15	松内 大知	DNP	0	0	0	0	0	
16	佐藤 涼真	/	0	0	0	0	0	
17	廣瀬 奨	DNP	0	0	0	0	0	
18	遠山 哲矢	DNP	0	0	0	0	0	
コーチ	西山 千佳							
合計			65	6	21	5	15	

TEAM B		滑石						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	宮崎 柁人	×	7	0	2	3	1	
5	松瀬 賢人	/	2	0	1	0	3	
6	陣野 滉大	×	14	1	5	1	3	
7	林田 隼弥	DNP	0	0	0	0	0	
8	山下 脩斗	DNP	0	0	0	0	0	
9	福島 悠大	DNP	0	0	0	0	0	
10	津浪 吏雄	DNP	0	0	0	0	0	
11	梅本 悠吏	DNP	0	0	0	0	0	
12	島田 航弥	×	10	0	5	0	3	
13	宮田 佳祐	×	2	0	1	0	3	
14	柴崎 雅也	×	12	0	3	6	4	
15	中村 敏貴	DNP	0	0	0	0	0	
16	松下 聖将	DNP	0	0	0	0	0	
17	薬王寺 隆成	DNP	0	0	0	0	0	
18	富永 大空	DNP	0	0	0	0	0	
コーチ	小森 悦夫							
合計			47	1	17	10	17	

x...スターター /...出場 DNP...未出場 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦評

四国ブロック代表・香東と九州ブロック代表・滑石との一戦。香東はオールコートマンツーマンDef、滑石はハーフコートマンツーマンDefでスタート。滑石#12がゴール下シュート、#4のフリースロー#6のゴール下と立て続けにシュートを決めた。香東は#7の3Pを、香東は#7の3Pで反撃を開始。#7、#5、#6と得点を重ねる。対する滑石は#12のゴール下以外はなかなか得点ができなかったが、香東のチームファウルによるフリースローを滑石#4、#14が確実に決め、1Q15—11で終了。2Q、香東は#7、#5がゴール下で得点を重ねる。対する滑石も#12、#13がゴール下で得点をする。残り4分、香東は#7が3回目のファウルをしたところでタイムアウト。滑石は、#6、#14が立て続けにフリースローを得るもシュート率が低かった。香東は#4、#8の3Pが決まり、2Q27—20で前半終了。3Q、香東は、オフェンスリバウンドを粘り#6、#7が着実に得点を重ねるが、開始5分、香東#5がファウルアウト。滑石#14がゴール下シュートを決めるも点差は縮まらない。残り2分40—27となったところで滑石がタイムアウト。滑石がオールコートマンツーマンDefで当たりを強くし、8秒オーバータイムをとる。滑石#4がシュートを決めるも43—29で3Q終了。4Q滑石が3Qに続きDefの当たりを強くするも立て続けにファウルとなる。滑石#14がゴール下シュートを粘り、一時11点差に迫るが香東は要所で#4、#6、#7が得点し、最後は香東#8がスティールから得点。ピリオドごとに差を広げ、65—47で試合終了。滑石は、粘りのあるDefが光ったが、外角のシュートの確率が上がった香東が勝利した。

記事者 續石 暁子 (所属) 岩手県中体連バスケットボール専門部